

英語によるプレゼンテーション力 育成キャンプ



松本 勉

高専機構・国際交流室長 教授

(前:熊本高専 PBL・総合教育センター長)

目標設定

- 英語力向上

本科の卒業研究、専攻科の特別研究の概要を1,500から2,000語程度の英語で執筆すること、及び研究概要を示すポスター作成と英語でのプレゼンテーション力を習得する

- 異文化理解

テマセクポリテクニクの学生交流を通して異なる文化を持つ人との共生について経験する

全体の流れ

1) 企画・立案

テマセク・ポリテクニクへの依頼
英語コミュニケーション担当グループ
Centre for TransCultural Studies

<= 10年間に渡る連携を持っている
毎年熊本高専への教員派遣
国際交流部との一体化した組織

事前の現地での会合を2回程度

2) 参加者募集

募集要項の作成

<= 高専機構本部との連携 TOIEC 400以上、5年生以上

3) 選抜

<= 高専機構本部との連携 作文、成績、同意書、健康調査の書類提出

4) 事前研修

TV会議システムを利用した事前研修
冊子の編集
事前課題(研究概要執筆、邦文と英文)
出発直前の研修

<= 事前研修用資料作成

<= ガイドブックの作製

《= 学生が作成し事前に提出

← 空港にて

5) 現地研修

← 初日はオリエンテーション

6) 事後研修

7) 報告書作成

研修第1週目

9/10 (Mon)	9/11 (Tue)	9/12 (Wed)	9/13 (Thu)	9/14 (Fri)
Opening Ceremony & Campus Tour	Technical English Programme	Industry Visit to Malaysia	Technical English Programme	Technical English Programme
Welcome Lunch	Lunch		Lunch	Lunch
Chinatown (Professionally Guided Tour)	Technical English Programme		Technical English Programme	Technical English Programme

研修第2週目

9/17 (Mon)	9/18 (Tue)	9/19 (Wed)	9/20 (Thu)	9/21 (Fri)
Technical English Programme	Technical English Programme	Technical English Programme (Presentations)	NTU Visit	Tampines Neighbourhood Sherlock Homes Trail (Organised by TP Students)
Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch
Technical English Programme	Technical English Programme	Technical English Programme (Poster Session)	Little India Heritage Hunt (Organised by TP Students)	Group Presentations Certificate Presentation Closing Ceremony Programme Evaluation
				Buffet Dinner & Sayonara

オリエンテーションの一部(紹介)

オリエンテーションの一部

携帯電話(学生一人1台)



- 空港の両替商や街のコンビニエンスストア, その他Singtel, Starhub, m1などのモバイルショップで購入可能.
- **パスポートが必要**
- **各自で購入してもらいます.**

[Singtel] <http://info.singtel.com/personal/phones-plans/mobile/prepaid/benefits>

[Starhub] <http://www.starhub.com/content/mobile/prepaid.html>

[m1]

[http://m1.com.sg/M1/site/M1Corp/menuitem.bbba2e1e0cd45957f15a947b3f200a0/?vgnextoid=66cd609933b72010VgnVCM100000275a160aRCRD&vgnextfmt=pdf&e:1304030119:](http://m1.com.sg/M1/site/M1Corp/menuitem.bbba2e1e0cd45957f15a947b3f200a0/?vgnextoid=66cd609933b72010VgnVCM100000275a160aRCRD&vgnextfmt=pdf&e:1304030119)

[**比較サイト**] <http://singaporesearchsite.com/singapore-tips/compare-prepaid-sim-cards/>

[Internet SMS Chat] <https://sms.singtel.com/internetsms/loginAction.do>

オリエンテーションの一部

Mobile WiFi



SIMフリーのMobile WiFiルータを各グループに1台貸与します。(予定)

ホステル内のネット環境はWiFiが設置されてますが、帯域が広くないのでいつも込み合っております。通信速度は速くありませんが、写真にあるようなSIMカードを購入して利用すればメールの読み書きには十分です。

詳しくは<http://www.m1.com.sg/>から探して下さい。Googleでm1 prepaid broadbandで検索すると良いでしょう。

オリエンテーションの一部

Wireless@SG

- オンラインで登録すれば利用可能となるが、ログイン用パスワードがSMSで携帯電話に送られてくる
 - シンガポールの携帯電話番号が必要
 - Googleで“wireless@sg”と検索すると、シンガポールの携帯なしで登録する方法が見つかります。
 - 空港インフォメーションで無線LAN接続用のIDとパスワードがもらえるらしい

オリエンテーションの一部

EZ-Linkカード



- 駅のチケットオフィスやセブン-イレブン, SingPost(郵便局)で購入可能
- Suicaのようなもの. 運賃のほか, コンビニや飲食店でも使用可能
- <http://www.ezlink.com.sg/index.php>



オリエンテーションの一部

現地オリエンテーション

1. MRT Botanic Garden駅へ行く、EZ-Linkカードを購入する。
2. MRTでBugis駅へ行きなさい。



Bugis駅から歩いて、このビルを探しなさい。Sim Lim Squareです。東京で言えば「(昔の)秋葉原」です。地元の人に聞けば、知らない人はいないと思います



ここからバスでホステルのすぐそばまで帰ります。コロネーション・プラザ (Coronation Plaza) です、下車するバス停はBef Crown Ctrがホステルには便利です。バスの番号は自分で探して下さい。

科学技術英語プレゼン研修(1)

前半ではレポートライティング、後半では、ポスターおよび口頭でのプレゼンテーションの方法を学んだ。レポートライティングでは、全体の構成から科学技術英語の特徴などについて講義を受け、段階的に少しずつ授業が進むにつれて各自のレポートも仕上がっていく形で進められた。毎日課題が課せられて、それぞれの学生は夜遅くまで熱心に取り組んでいた。

プレゼンテーションの授業では、効果的なスライド作成の方法やポスター作製、そして実際の発表まで、すでに作成したレポートの内容に基づいて進められていった。



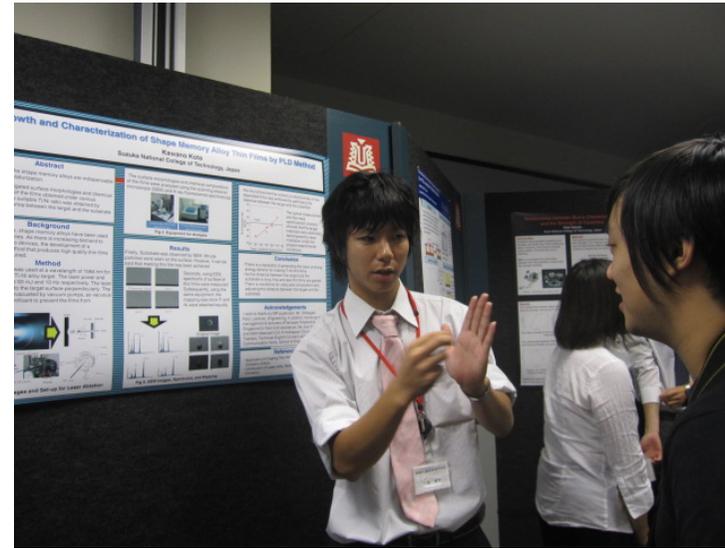
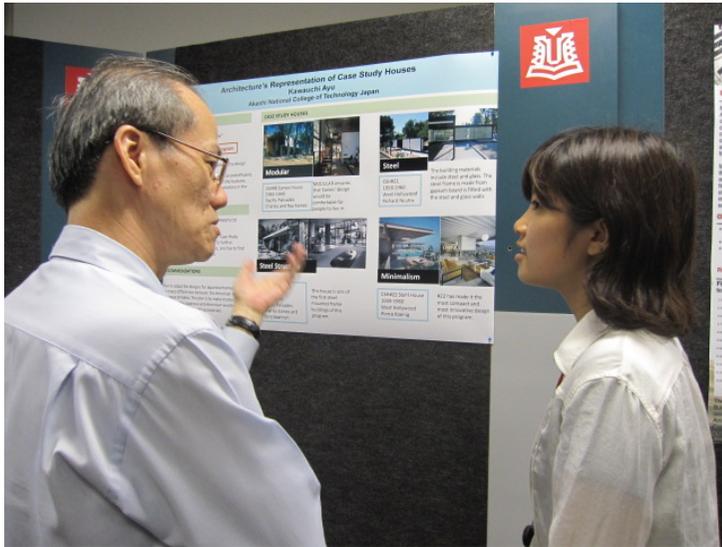


科学技術英語プレゼン研修(2)

プレゼンテーション当日の午後にポスターセッションが開催された。前日まで修正を重ねたデータをプリントしたポスターを掲示し、学生による発表が行われた。

こちらはTPや熊本高専の学生、またTP教員の見学もあり、具体的な質問が多くなされ、学生が懸命に応答する姿が見られた。先のプレゼンテーションでは発表も質疑応答も時間が限られていたが、こちらはある程度十分な時間がとられたためむしろプレゼンテーションよりもはるかに多くの英語を話すチャンスが生まれ、熱心なやり取りがあちこちで交わされる、さらに活気のあるセッションとなった。





ポスター発表の様子



口頭発表の様子

口頭発表の例



現地指導教員の評価

- 英文概要の評価
- ポスターデザインの評価
- 発表の評価

- 上記3項目の評価
評価シートのサンプル

引率教員による評価

1) 語彙

科学技術英語語彙・・・適切な科学技術英単語が使用されているか
共起性とバラエティ・・・使用されている語彙間の共起性が守られているかどうか。単一の語彙・語句の繰り返しの使用

2) 統語

文法・・・正しい文法であるかどうか

文体・・・科学技術英語論文として適切な文体が保たれているか

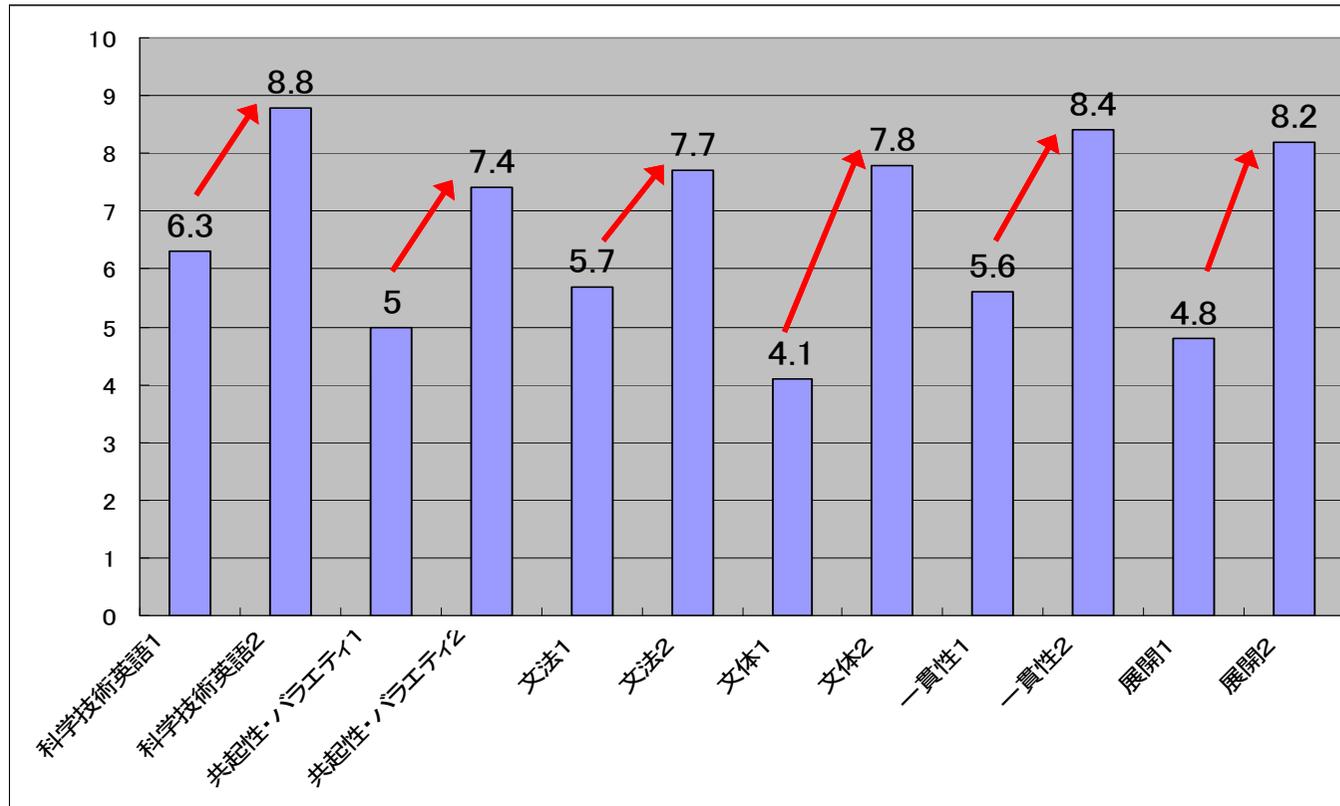
3) 論理性

一貫性・・・論理に一貫性が保たれていて読み手に理解できるか

展開・・・論理の展開が適切で読み手に理解できるかどうか

これらの項目を事前に提出された英文と研修後の英文とを分析比較

分析結果



①語彙

- ・科学技術英語語彙 +2.5ポイント
- ・共起性とバラエティ +2.4ポイント

②統語

- ・文法 +2ポイント
- ・文体 +3.7ポイント

③論理性

- ・一貫性 +2.8ポイント
- ・展開 +3.4ポイント

研修後のアンケート調査

技術英語研修の内容である

- 1) テクニカル・ライティング
- 2) ポスター作成と発表
- 3) テクニカル・プレゼンテーション

の3分野において調査した。

アンケート結果の要約

全員の学生が、Introduction, Methodology, Results & Discussion, Conclusionの流れにそって書くことができたと評価している。さらに、86%がテクニカル・ライティング(1500~2000語)の書き方を理解できたと評価している。

93%の学生がポスター作成のポイントに従ってできたと評価し、86%の学生がポスターを見せて研究の説明をできたと高く評価している。

学生全員がプレゼンテーションの仕方を理解できたと評価し、86%の学生がプレゼンテーションの仕方を実践できたと自己評価している。

異文化理解

学生たちにとって海外の同年代の学生と友好を深め、信頼関係を築くことができたことは貴重な体験であった。テーマセクションの学生たちとの異文化交流を通して、日本とシンガポールの文化の違いについての知識を増やすだけでなく、背景となっている価値観も理解することができたと感じている学生が多い。さらに、自国の文化や社会を見つめなおすことができたようだ。例を挙げると、「自分の中での日本の認識(の変化)」や「相手国のみではなく、自国について海外から見た視点で気づかされる点が多く、視野が広がる」などがある。



マレーシア1日小旅行

【目的】

将来の活躍場所である製造拠点訪問

近距離に文化の異なる国の存在

陸路による国境越え

【行ったこと】

- 日系企業 KENWOOD訪問(礼状作成)
- ジョホールバル 名所旧跡探訪

経費

- 航空券代金 11万
 - 宿泊 2.5万
 - 交通費 0.5万
 - 講習料 無料
- 合計 14万(概算)

研修終了後の動向

Conference on Laser Ablation(メキシコにて2011年11月開催)にて発表
ISTS2012(タイにて2012年1月開催)にて研究発表

Sixth International Conference on Innovative Computing, Information and Control
(ICICIC2011)(北九州国際会議場にて2011年12月開催)にて研究発表

Joint CAST 2012(富山高専、熊本高専、松江高専をWeb会議システム)にて発表

ISTS2012(タイにて2012年1月開催)にて発表

Joint CAST 2012(富山高専、熊本高専、松江高専をWeb会議システムにて)発表

専攻科特別研究発表会(八戸市ユートリーにて2012年1月18日開催)にて最優秀
賞を受賞

参加者のうち2名が数か月の短期留学に参加

まとめ

- 1) 学校の枠を越えた交流と高専生同士の刺激
- 2) 参加条件に「各自の研究内容の確定」
と「研修目的を確実に理解」が要求されるべき
- 3) 英語学習への刺激になる
- 4) 英語力向上には短期間